

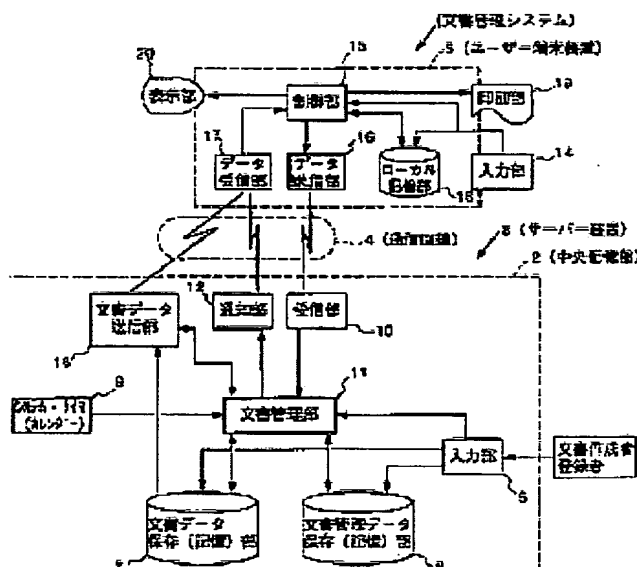
DOCUMENT MANAGEMENT SYSTEM

Patent number: JP9006657
Publication date: 1997-01-10
Inventor: KABAYA MUTSUO
Applicant: RICOH KK
Classification:
 - international: G06F12/00; G06F13/00; G06F17/21
 - european:
Application number: JP19950174358 19950616
Priority number(s): JP19950174358 19950616

Report a data error here

Abstract of JP9006657

PURPOSE: To provide a document management system which can prevent the misrecognition and flood of a document data store period information at the user side, can extremely reduce the management manhour and the document back-up frequency at the user side, can improve the overall memory use efficiency of the system, and also can prevent the flood of document data that is caused by the unitary information. **CONSTITUTION:** The document which is supplied from the document producer or registerer is fetched and managed by a server device 3. The expiration of a document store period is notified to the users of document including a specific user in several days before the store period expires. Then a request is accepted for the extension of the document store period, and it is decided whether this store period should be extended or not when the request acceptance period is expired. Based on the result of this decision, the document store period is extended or deleted. This processing result is notified to the specific user.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

کالعدم (CPI)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-6657

(43) 公開日 平成9年(1997) 1月10日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 12/00	5 2 0	7623-5B	G 0 6 F 12/00	5 2 0 E
13/00	3 5 1	7368-5E	13/00	3 5 1 C
17/21		9288-5L	15/20	5 7 0 R
		9288-5L		5 9 0 J

審査請求 未請求 請求項の数7 F D (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願平7-174358

(22) 出願日 平成7年(1995) 6月16日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 蒲谷睦男

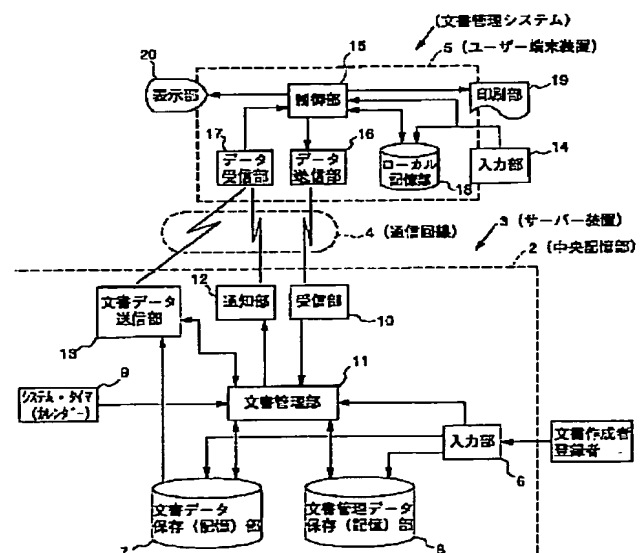
東京都大田区中馬込一丁目3番6号 株式会社リコー内

(54) 【発明の名称】 文書管理システム

(57) 【要約】

【目的】 本発明はユーザー側での「文書データ保存期限情報」の誤認、氾濫を防ぐとともに、ユーザー側の管理工数を大幅に低減させ、さらにユーザー側で行なう、文書のバックアップ件数を大幅に減らし、システム全体のメモリ利用効率を向上させるとともに、情報の一元化による文書データの氾濫を防止する。

【構成】 文書作成者や文書登録者が入力した文書を取り込んで、サーバー装置3によってこれらを管理し、保存期限が切れる日の数日前に、前記文書の利用者など、特定のユーザーに対し、前記文書の保存期限が切れることを知らせて、保存期限の延長などの要求を受け、要求受付期限が切れるとき前記文書の保存期限を延長するかどうかを決定し、この決定結果に基づきこの文書の保存期限の延長、削除などを行ない、この処理結果を前記特定のユーザーに知らせる。



(2)

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 システム内に登録されている文書のデータを読み出す指示が入力されたとき、通信回線上に文書読み出し要求を送信し、これに対応して前記通信回線上に送出された文書のデータを取り込んで、指定された処理を行ない、また前記通信回線上に文書の保存期限が切れることを示す通知が出されたとき、前記通信回線上に、ユーザーの操作内容に応じた応答を送出するユーザー端末装置と、

文書作成者や文書登録者によって入力された文書のデータおよび管理情報を登録し、前記ユーザー端末装置によって前記通信回線上に読み出し要求が送出されたとき、文書データ保存部から前記読み出し要求に対応した文書のデータを読み出し、これを前記通信回線上に送出するとともに、前記読み出し要求を出したユーザー端末装置の番号を文書利用者として登録し、前記管理情報によって指定された前記文書の保存期限が切れる前に、前記文書利用者、前記文書作成者および文書登録者に前記文書の保存期限が切れることを通知するサーバー装置と、を備えたことを特徴とする文書管理システム。

【請求項2】 請求項1に記載の文書管理システムにおいて、

前記サーバー装置は、保存期限が切れる文書について、前記文書の保存期限の延長可否、保存場所の変更可否のうち、少なくともいずれか1つについて決定を行ない、前記文書の保存期限が切れることを通知した前記文書利用者、前記文書作成者および文書登録者に対し、前記決定結果を通知することを特徴とする文書管理システム。

【請求項3】 請求項1に記載の文書管理システムにおいて、

前記サーバー装置は、文書の保存期限が切れることを通知したユーザー端末装置から、前記文書に対する保存期限の延長要求、前記文書の保存場所変更要求の少なくともいずれか一方があったとき、これを受け付けて予め設定されている変更規定に基づき、前記文書の保存期限の延長可否、保存場所の変更可否のうち、少なくともいずれか1つについて決定を行なうことを特徴とする文書管理システム。

【請求項4】 請求項3に記載の文書管理システムにおいて、

前記サーバー装置は、前記変更規定として、前記文書に対する利用頻度、前記文書の機密レベルを含む管理情報およびユーザー端末装置から出力された前記文書に対する保存期限の延長要求、前記文書の保存場所変更要求に基づき、前記文書の保存期限の延長可否、保存場所の変更可否のうち、少なくともいずれか1つについて決定を行なう規定を使用することを特徴とする文書管理システム。

【請求項5】 請求項4に記載の文書管理システムにおいて、

2

前記サーバー装置は、保存期限が切れる文書について、前記変更規定に基づき、前記文書の保存期限の延長可否、保存場所の変更可否のうち、少なくともいずれか1つについて決定を行ない、前記文書の保存期限が切れることを通知した前記文書利用者、前記文書作成者および文書登録者に対し、前記決定結果を通知することを特徴とする文書管理システム。

【請求項6】 請求項3に記載の文書管理システムにおいて、

10 前記サーバー装置は、文書の保存期限後、システムとしてのアクセスが不可能になる文書をバックアップしているユーザー端末装置のうち、最終レビジョンと一致していない文書をバックアップしているユーザー端末装置を検索し、このユーザー端末装置に対して、最終レビジョンへの更新有無を通知することを特徴とする文書管理システム。

【請求項7】 請求項6に記載の文書管理システムにおいて、

20 前記サーバー装置は、最終レビジョンへの更新有無を通知したユーザー端末装置から最終レビジョンへの更新要求が出されたとき、前記文書データ保存部に登録されている最終レビジョンの文書のデータを読み出し、前記ユーザー端末装置のローカル記憶部にバックアップされている文書のデータを更新することを特徴とする文書管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、画像形式やコードデータ形式で表現された文書などを管理する文書管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 画像形式やコードデータ形式で表現された文書などを管理する際の技術として、従来、特開平2-2453号に開示された「対話型情報取扱いシステムにおける電子文書の保存管理方法」などが知られている。この「対話型情報取扱いシステムにおける電子文書の保存管理方法」は、電子化された文書を管理する際、2つの独立する確定された満期日、すなわちオーナーシップ満期日付と、文書満期日付とを設け、現在日付に関連して各文書に関する満期日付の基準を処理して文書の保存、削除を自動的に行なうものであり、登録されている文書の保存、削除を自動化することにより、大量の文書を登録しても不要な文書を逐次削除して、メモリが満杯にならないようにする。

【0003】 ところで、このような従来の文書管理方法では、文書の保存期限を管理する際、文書登録時点で満期日を設定し、この満期日になったとき文書が自動的に削除されたり、予め設定されている移動手段により他の保管場所に転送されて、別方式で管理されてしまったりするため、各文書毎に設定された満期日が来る前に各ユ

(3)

3

ユーザーがシステム内に登録されている各文書の保存期限を示す文書保存期限切れの情報、例えば期限切れ一覧リストなどを表示させて必要な文書に対する呼び出しなどのアクセスを行わなければならない。このため、文書利用可能期日の誤認、確認漏れなどにより、登録されている文書を使用しようとしたとき必要な文書が既に削除されていて文書の内容を読み出すことができないことがあった。

【0004】そこで、このような問題を解決する方法として、各文書の保存期限が切れる前に全てのユーザーに対し、「期限切れ間近」の通知を出すことも考えられるが、このようにすると、システムに保存されている文書の量が膨大なとき各ユーザー毎に確認しなければならない通知量が膨大になって、確認作業を行なうだけでも、かなりの時間がとられてしまうという問題がある。また、他の問題解決方法として、登録されている各文書のうち各ユーザーが必要とする文書を各ユーザー毎にバックアップさせ、システムに登録されている文書の保存期限が切れてこれが削除されても、各ユーザー側でバックアップしている文書を使用させるようにすることも考えられるが、このようにすると各ユーザー側にある記憶部にバックアップさせなければならない文書の件数が増えてシステム全体のメモリ利用効率が低下してしまうとともに、情報が多元化されてデータの氾濫が発生してしまうという問題がある。

【0005】

【発明の目的】本発明は上記に鑑みてなされたものであり、該当する文書データの利用ユーザーなどを特定して、文書データの保管期限切れ通知を行なうことにより、ユーザー側での「文書データ保存期限情報」の誤認、氾濫を防ぐことができるとともに、ユーザー側の管理工数を大幅に低減させることができ、さらにユーザー側で行なう文書のバックアップ件数を大幅に減らし、システム全体のメモリ利用効率を向上させることができる。また、情報の一元化による文書データの氾濫を防止することができる文書管理システムを提供することを目的としている。

【0006】

【発明の構成】上記の目的を達成するために、請求項1に記載した本発明による文書管理システムは、システム内に登録されている文書のデータを読み出す指示が入力されたとき通信回線上に文書読み出し要求を送信し、これに対応して前記通信回線上に送出された文書のデータを取り込んで、指定された処理を行ない、また前記通信回線上に文書の保存期限が切れることを示す通知が出されたとき前記通信回線上に、ユーザーの操作内容に応じた応答を送出するユーザー端末装置と、文書作成者や文書登録者によって入力された文書のデータおよび管理情報を登録し、前記ユーザー端末装置によって前記通信回線上に読み出し要求が送出されたとき文書データ保存部

4

から前記読み出し要求に対応した文書のデータを読み出し、これを前記通信回線上に送出するとともに、前記読み出し要求を出したユーザー端末装置の番号を文書利用者として登録し、前記管理情報によって指定された前記文書の保存期限が切れる前に、前記文書利用者、前記文書作成者および文書登録者に前記文書の保存期限が切れることを通知するサーバー装置とを備えたことを特徴としている。また、請求項2では、請求項1に記載の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置は、保存期限が切れる文書について、前記文書の保存期限の延長可否、保存場所の変更可否のうち少なくともいずれか1つについて決定を行ない、前記文書の保存期限が切れることを通知した前記文書利用者、前記文書作成者および文書登録者に対し、前記決定結果を通知することを特徴としている。

【0007】また、請求項3では、請求項1に記載の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置は、文書の保存期限が切れることを通知したユーザー端末装置から、前記文書に対する保存期限の延長要求、前記文書の保存場所変更要求の少なくともいずれか一方があったときこれを受け付けて、予め設定されている変更規定に基づき、前記文書の保存期限の延長可否、保存場所の変更可否のうち少なくともいずれか1つについて決定を行なうことを特徴としている。

【0008】また、請求項4では、請求項3に記載の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置は、前記変更規定として、前記文書に対する利用頻度、前記文書の機密レベルを含む管理情報およびユーザー端末装置から出力された前記文書に対する保存期限の延長要求、前記文書の保存場所変更要求に基づき、前記文書の保存期限の延長可否、保存場所の変更可否のうち少なくともいずれか1つについて決定を行なう規定を使用することを特徴としている。

【0009】また、請求項5では、請求項4に記載の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置は、保存期限が切れる文書について、前記変更規定に基づき、前記文書の保存期限の延長可否、保存場所の変更可否のうち少なくともいずれか1つについて決定を行ない、前記文書の保存期限が切れることを通知した前記文書利用者、前記文書作成者および文書登録者に対し、前記決定結果を通知することを特徴としている。

【0010】また、請求項6では、請求項3に記載の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置は、文書の保存期限後、システムとしてのアクセスが不可能になる文書をバックアップしているユーザー端末装置のうち最終レビジョンと一致していない文書をバックアップしているユーザー端末装置を検索し、このユーザー端末装置に対して、最終レビジョンへの更新有無を通知することを特徴としている。

【0011】また、請求項7では、請求項6に記載の文

(4)

5

書管理システムにおいて、前記サーバー装置は、最終レ
ビジョンへの更新有無を通知したユーザー端末装置から
最終レビジョンへの更新要求が出されたとき前記文書デ
ータ保存部に登録されている最終レビジョンの文書のデ
ータを読み出し、前記ユーザー端末装置のローカル記憶
部にバックアップされている文書のデータを更新するこ
とを特徴としている。

【0012】

【作用】上記の構成において、請求項1の発明は、シス
テム内に登録されている文書のデータを読み出す指示が
入力されたときユーザー端末装置によって通信回線上に
文書読み出し要求を送信し、これに対応して前記通信回
線上に送出された文書のデータを取り込んで、指定され
た処理を行ない、また前記通信回線上に文書の保存期限
が切れることを示す通知が出されたとき前記通信回線上
に、ユーザーの操作内容に応じた応答を送出し、サー
バー装置によって文書作成者や文書登録者が入力した文書
のデータおよび管理情報を登録し、前記ユーザー端末装
置によって前記通信回線上に読み出し要求が送出された
とき文書データ保存部から前記読み出し要求に対応した
文書のデータを読み出し、これを前記通信回線上に送出
するとともに、前記読み出し要求を出したユーザー端末
装置の番号を文書利用者として登録し、前記管理情報に
よって指定された前記文書の保存期限が切れる前に、前
記文書利用者、前記文書作成者および文書登録者に前記
文書の保存期限が切れることを通知することにより、文
書データの保管期限切れを特定のユーザーにだけに通知
して、該当する文書データの利用ユーザー側での「文書
データ保存期限情報」の誤認、氾濫を防ぐとともに、管
理工数を大幅に低減させる。

【0013】また、請求項2の発明は、請求項1に記載
の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置で、保
存期限が切れる文書について、前記文書の保存期限の延
長可否、保存場所の変更可否のうち少なくともいずれか
1つについて決定を行ない、前記文書の保存期限が切れ
ることを通知した前記文書利用者、前記文書作成者およ
び文書登録者に対し、前記決定結果を通知することによ
り、請求項1と同様に、文書データの保管期限切れを特
定のユーザーにだけに通知して、該当する文書データの
利用ユーザー側での「文書データ保存期限情報」の誤
認、氾濫を防ぐとともに、管理工数を大幅に低減させ
る。

【0014】また、請求項3の発明は、請求項1に記載
の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置で、文
書の保存期限が切れることを通知したユーザー端末装置
から、前記文書に対する保存期限の延長要求、前記文書
の保存場所変更要求の少なくともいずれか一方があった
ときこれを受け付けて、予め設定されている変更規定に
基づき、前記文書の保存期限の延長可否、保存場所の変
更可否のうち少なくともいずれか1つについて決定を行

6

なうことにより、利用ユーザー側で、中央記憶部に登録
されている文書を読み出して、自ユーザー端末装置にバ
ックアップする件数を減らして、記憶部の有効活用を促
進するとともに、情報の一元化によるデータの氾濫を防
止する。

【0015】また、請求項4の発明は、請求項3に記載
の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置で、前
記変更規定として、前記文書に対する利用頻度、前記文
書の機密レベルを含む管理情報およびユーザー端末装置
から出力された前記文書に対する保存期限の延長要求、
前記文書の保存場所変更要求に基づき、前記文書の保存
期限の延長可否、保存場所の変更可否のうち少なくとも
いずれか1つについて決定を行なう規定を使用すること
により、請求項1、3と同様に、文書データの保管期限
切れを特定のユーザーにだけ、通知して、該当する文書
データの利用ユーザー側での「文書データ保存期限情
報」の誤認、氾濫を防ぐとともに、管理工数を大幅に低
減させ、さらに利用ユーザー側で、中央記憶部に登録さ
れている文書を読み出して、自ユーザー端末装置にバッ
クアップする件数を減らして、記憶部の有効活用を促進
するとともに、情報の一元化によるデータの氾濫を防止
する。

【0016】また、請求項5の発明は、請求項4に記載
の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置で、保
存期限が切れる文書について、前記変更規定に基づき、
前記文書の保存期限の延長可否、保存場所の変更可否の
うち少なくともいずれか1つについて決定を行ない、前
記文書の保存期限が切れることを通知した前記文書利用
者、前記文書作成者および文書登録者に対し、前記決定
結果を通知することにより、請求項1、3と同様に文書
データの保管期限切れを特定のユーザーにだけ通知し
て、該当する文書データの利用ユーザー側での「文書デ
ータ保存期限情報」の誤認、氾濫を防ぐとともに管理工
数を大幅に低減させ、さらに利用ユーザー側で中央記憶
部に登録されている文書を読み出して、自ユーザー端末
装置にバックアップする件数を減らして、記憶部の有効
活用を促進するとともに、情報の一元化によるデータの
氾濫を防止する。

【0017】また、請求項6の発明は、請求項3に記載
の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置で文書
の保存期限後、システムとしてのアクセスが不可能にな
る文書をバックアップしているユーザー端末装置のう
ち、最終レビジョンと一致していない文書をバックアッ
プしているユーザー端末装置を検索し、このユーザー端
末装置に対して最終レビジョンへの更新有無を通知する
ことにより、各利用ユーザー側で文書がバックアップさ
れている状態で、中央記憶部側の文書を更新する場合で
もシステム内に新文書と、旧文書が混在するのを防止し
て、データの氾濫を防止する。

【0018】また、請求項7の発明は、請求項6に記載

(5)

7

の文書管理システムにおいて、前記サーバー装置で最終レビジョンへの更新有無を通知したユーザー端末装置から最終レビジョンへの更新要求が出されたとき、前記文書データ保存部に登録されている最終レビジョンの文書のデータを読み出し、前記ユーザー端末装置のローカル記憶部にバックアップされている文書のデータを更新することにより、請求項3と同様に利用ユーザー側で中央記憶部に登録されている文書を読み出して、自ユーザー端末装置にバックアップする件数を減らして、記憶部の有効活用を促進するとともに、情報の一元化によるデータの冗雑を防止する。

【0019】

【実施例】以下、本発明を添付図面に示した実施例により詳細に説明する。図1は本発明による文書管理システムの一実施例を示すシステム構成図である。この図に示す文書管理システムは中央記憶部2を持ちシステム全体の文書管理装置として動作するサーバー装置3と、通信回線4によって前記サーバー装置3に接続される複数のユーザー端末装置5とを備えており、サーバー装置3によって文書作成者や文書登録者が入力した文書を取り込んで、これら各文書の保存期限を管理し、保存期限が切れる日の数日前に前記文書の作成者、文書登録者および前記文書の利用者など特定のユーザーに対し、前記文書の保存期限が切れることを知らせて保存期限の延長などの要求を受け、要求受付期限が切れるとき前記文書の保存期限を延長するかどうかを決定し、この決定結果に基づきこの文書の保存期限の延長、削除などを行ない、この処理結果を前記特定のユーザーに知らせる。この際、削除された文書（旧文書）に対応する新たな文書（新文書）が登録されていれば、サーバー装置3によって旧文書を記憶しているユーザー端末装置5に対して最新レビジョンの文書へ変更するかどうかを通知し、変更要求があれば、前記ユーザー端末装置5に対し、サーバー装置3から最新レビジョンの文書を転送して、このユーザー端末装置5に記録されている文書を更新させる。

【0020】前記サーバー装置3は、登録対象となる文書のデータおよびこれらの各文書の管理情報（例えば、利用状況、機密レベルなど）などを入力するとき文書作成者や文書登録者によって操作される入力部6と、この入力部6によって取り込まれた文書データを取り込んで記憶する文書データ保存部7と、前記入力部6によって取り込まれた前記文書に対する管理情報などを記憶する文書管理データ保存部8と、計時動作を行なって現在時間、現在日付を発生するシステム・タイマ9と、ユーザー端末装置5から送信された各種の要求指示、応答内容などを取り込む受信部10と、前記システム・タイマ9によって得られた現在時間、現在日付、前記文書管理データ保存部8に記憶されている各文書の管理情報、前記受信部10によって受信された各ユーザー端末装置5からの指示内容などに基づき前記文書データ保存部7に記

8

憶されている文書の期限管理、バックアップ処理、最新レビジョンへの更新処理などを行なう文書管理部11と、この文書管理部11から出力される通知などを取込み、指定された各ユーザー端末装置5に送信する通知部12と、前記文書管理部11からの送信指示があったとき前記文書データ保存部7に記憶されている各文書のうち指定された文書のデータを読み出し、指定された各ユーザー端末装置5に送信する文書データ送信部13とを備えている。

【0021】文書作成者や文書登録者によって入力された文書データや管理情報などの登録処理、前記文書データ保存部7に記憶されている各文書の保存期限の管理、各ユーザー端末装置5から送信される要求、応答などの処理、各ユーザー端末装置5のうち、予め設定されている条件を満たす各ユーザー端末装置5に対して保存期限切れ間近を示す通知を行なう処理、各ユーザー端末装置5からの要求、応答などに応じて保存期限切れとなった文書の保存期限を更新する処理、文書を削除する処理、前記各ユーザー端末装置5に対して処理結果を通知する処理、各ユーザー端末装置5内にバックアップされている文書の更新処理などを行なう。

【0022】また、前記ユーザー端末装置5は、ユーザーによって操作される入力部14と、この入力部14によって入力された操作内容などに基づき前記サーバー装置3に対する各種の要求を出す処理、前記サーバー装置3から送信される文書データの取り込み処理、表示データを作成する処理、印刷データを作成する処理などを行なう制御部15と、この制御部15から出力される各種の要求、応答などを取り込んで、前記サーバー装置3に送信するデータ送信部16と、前記サーバー装置3から送信された文書のデータや通知などを取り込んで、前記制御部15に伝えるデータ受信部17と、前記入力部14に入力された操作情報や前記制御部15に取り込まれた文書データなどを記憶するローカル記憶部18と、前記制御部15から出力される印字データを取り込んで、これをプリントアウトする印刷部19と、前記制御部15から出力される表示データを取り込んで、これを画面表示する表示部20とを備えている。

【0023】ユーザーの操作内容に基づき各種のデータ処理を行なう処理、前記サーバー装置3から各文書の保存期限などに関する通知があったときこの通知内容を画面上に表示して、ユーザーの応答を促す処理、ユーザーの操作内容に基づき応答（リプライ）を発生して、前記サーバー装置3に送信する処理、前記サーバー装置3に登録されている文書データを受信して、これを記憶する処理、前記サーバー装置3から送信される最終レビジョンへの更新通知、最終レビジョンの文書データなどを受信して、記憶している文書データを更新する処理などを行なう。

【0024】次に、図1に示すシステム構成図、図2～

9

図4に示すフローチャート、図5、図6に示す模式図を参照しながら、この実施例の動作を説明する。＜各文書の保存期限切れ前の動作＞まず、文書作成者や文書登録者によってサーバー装置3の入力部6が操作されて文書データやこの文書データの保存期限などを示す管理情報などが入力されれば、文書管理部11によってこれが取り込まれて前記文書データが文書データ保存部7に登録されるとともに、前記管理情報などが文書管理データ保存部8に登録される。そして、各ユーザーによってユーザー端末装置5の入力部14が操作されて、前記サーバー装置3の文書データ保存部7に登録されている各文書のいずれかに対する利用要求が入力されれば、ユーザー端末装置5の制御部15によって指定された文書データに対する利用要求が生成され、これがデータ送信部16、通信回線4を介してサーバー装置3の受信部10に送信され、文書管理部11に取り込まれる。

【0025】これにより、この文書管理部11によって前記利用要求を出したユーザー端末装置5の端末番号が管理情報として、前記文書管理データ保存部8に登録されるとともに、文書データ送信部13に対して利用要求で指定された文書の文書名などが指示されて、文書データ保存部7に登録されている多数の文書データのうち、指定された文書の指定された部分が読み出され、これが前記利用要求を出したユーザー端末装置5のデータ受信部17に送信される。そして、ユーザー端末装置5の制御部15によって前記サーバー装置3から送信された前記文書のデータが処理され、処理結果が表示部20に表示されるとともに必要に応じて印刷部19からプリントアウトされ、またローカル記憶部18にバックアップされる。

【0026】この後、図2のフローチャートに示す如く、サーバー装置3内に設けられているシステム・タイマ9から出力される現在の日付が前記文書管理データ保存部8に登録されている文書の保存期限から予め設定されている日数前になれば（ステップST1）、文書管理部11によって前記文書管理データ保存部8に登録されている管理情報のうち、保存期限から数日前となった文書に対応する管理情報が読み出され、この管理情報で示される前記文書を登録した文書作成者、文書登録者、この文書を利用しているユーザー端末装置5の端末番号などがリストアップされ（ステップST2）、これら文書作成者、文書登録者に対して文書データ保存期限切れ間近を示す通知が出されるとともに、通知部12を介して、前記文書の利用者が使用しているユーザー端末装置5のデータ受信部17に対し、前記文書データ保存期限切れ間近を示す通知が送信される（ステップST3）。これによって、この通知を受けたユーザー端末装置5の表示部20上の隅に図5に示す如く保存期限間近通知アイコン21やメッセージが表示されて、前記文書を利用していたユーザーに前記文書の保存期限切れが近いこと

(6)

10

が通知される。

【0027】そして、ユーザーによって入力部14のマウス装置（図示は省略する）などが操作されて、表示部20上に表示されている保存期限間近通知アイコン21がクリックされたり、一旦、電源が落とされた後、このユーザー端末装置5が再度断ち上げられたりしたときユーザー端末装置5の制御部15によって予め設定されている回答用フォーマット、例えば図6に示す如く構成された回答用フォーマットを持つ回答画面22が作成されて、これが表示部20上に表示される。

【0028】ここで、回答期限として定められている期間内にユーザーによって入力部14が操作され、保存期限が近い文書に対する保存期限の延長指示や保存しなくても良いことを示す指示、保存場所の移動指示などが入力されれば、制御部15によってこれらの指示内容を示す応答データが作成され、これがデータ送信部16、通信回線4を介してサーバー装置3の受信部10に送信され、文書管理部11によって文書管理データ保存部8に記憶される。

【0029】＜各文書の保存期限切れ時の動作＞この後、図3のフローチャートに示す如く、サーバー装置3内に設けられているシステム・タイマ9から出力される現在の日付が前記文書管理データ保存部8に登録されている文書の保存期限に対応する回答期限日になれば、文書管理部11によって前記文書管理データ保存部8に登録されている管理情報のうち、保存期限切れとなる文書の管理情報が読み出され、この管理情報で示されるこの文書に対する文書作成者、文書登録者からの保存依頼の有無、保存場所の変更依頼の有無、前記文書の利用者からの保存依頼の有無、保存場所の変更依頼の有無などが予め設定されている保存期限の変更条件（例えば、保存延長年数、その件数など）や保存場所の変更条件を満たしているかどうかチェックされる（ステップST11、ST12）。

【0030】そして、前記文書に対する文書作成者、文書登録者、文書利用者からの応答内容が前記保存期限の変更条件を満たしていれば（ステップST13、ST14）、文書管理部11によって文書作成者、文書登録者、文書利用者から依頼された保存期限の延長が決定され、この決定内容に基づき文書管理データ保存部8に登録されている管理情報の内容が修正され、前記文書の保存期限が延長されるとともに、前記文書作成者、文書登録者に対して文書の保存期限を延長したことを示す通知が出され、さらに前記文書の利用者が使用しているユーザー端末装置5のデータ受信部17に対し、通知部12、通信回線4を介して前記文書の保存期限を延長したことを示す通知が送信され、これがこのユーザー端末装置5の表示部20などに表示される（ステップST15、ST16）。

【0031】また、前記文書に対する文書作成者、文書

(7)

11

登録者、文書利用者からの応答内容が前記保存期限の変更条件を満たしていなければ（ステップST13、ST14）、文書管理部11によって文書作成者、文書登録者、文書利用者から依頼された保存期限の延長不可が決定され、この決定内容に基づき文書管理データ保存部8に登録されている管理情報の内容がそのままの状態以保持されるとともに、前記文書作成者、文書登録者に対して文書の保存期限を延長しないことを示す通知が出され、さらに前記文書の利用者が使用しているユーザー端末装置5のデータ受信部17に対し、通知部12、通信回線4を介して前記文書の保存期限を延長しないことを示す通知が送信され、これがこのユーザー端末装置5の表示部20などに表示される（ステップST17、ST16）。

【0032】また、前記文書に対する文書作成者、文書登録者、文書利用者からの応答内容が前記保存場所の変更条件を満たしていれば（ステップST18、ST19）、文書管理部11によって文書作成者、文書登録者、文書利用者から依頼された保存場所の変更が決定され、この決定内容に基づき文書管理データ保存部8に登録されている管理情報の内容が修正され、前記文書の保存場所として新たな場所が設定されるとともに、前記文書作成者、文書登録者に対して文書の新たな保存場所を示す通知が出され、さらに前記文書の利用者が使用しているユーザー端末装置5のデータ受信部17に対し、通知部12、通信回線4を介して前記文書の新たな保存場所を示す通知が送信され、このユーザー端末装置5の表示部20などに表示される（ステップST20、ST16）。

【0033】また、前記文書に対する文書作成者、文書登録者、文書利用者からの応答内容が前記保存場所の変更条件を満たしていなければ（ステップST18、ST19）、文書管理部11によって文書作成者、文書登録者、文書利用者から依頼された保存場所の変更不可が決定され、この決定内容に基づき文書管理データ保存部8に登録されている管理情報の内容がそのままの状態以保持されるとともに、前記文書作成者、文書登録者に対して文書の保存場所を変更しないことを示す通知が出され、さらに前記文書の利用者が使用しているユーザー端末装置5のデータ受信部17に対し、通知部12、通信回線4を介して前記文書の保存場所を変更しないことを示す通知が送信され、このユーザー端末装置5の表示部20などに表示される（ステップST21、ST16）。

【0034】サーバー装置3内に設けられているシステム・タイマ9から出力される現在の日付が前記文書管理データ保存部8に登録されている文書の保存期限となったとき文書管理部11によって文書管理データ保存部8に登録されている各管理情報のうち、前記文書に対応する管理情報の内容が読み出され、この管理情報によって

12

前記文書の保存期限延長が指定されていれば、文書データ保存部7に登録されている文書が引き続き保存され、また前記管理情報によって前記文書の新たな保存場所が指定されていれば、文書データ保存部7に保存されている前記文書のデータが新たな保存場所に移送される。

【0035】<各文書のレビジョン更新動作>また、サーバー装置3の文書データ保存部7に保存されている文書の保存期限が切れる前に、ユーザー端末装置5によって文書データ保存部7に登録されている文書が読み出されて、ローカル記憶部18にバックアップされている状態で、前記文書の内容が更新されて新しい文書（新文書）が登録されるとともに、元の文書（旧文書）の保存期限が切れれば、文書管理部11によって文書管理データ保存部8に登録されている管理情報がアクセスされて、前記旧文書をバックアップしているユーザー端末装置5があるかどうかチェックされる。そして、前記旧文書をバックアップしているユーザー端末装置5があれば、サーバー装置3の文書管理部11によって前記旧文書をバックアップしているユーザー端末装置5に対し、最新レビジョン文書（最も新しい改訂版の文書）への変更が必要であるかどうかを尋ねる通知が出される。

【0036】ここで、図4のフローチャートに示す如く、ユーザーによってユーザー端末装置5の入力部14が操作されて、前記サーバー装置3の文書データ保存部7に登録されている各文書のうち、自ユーザー端末装置5で読み出してローカル記憶部18に記憶させた文書について、最新レビジョン文書への変更依頼が入力されれば（ステップST31）、ユーザー端末装置5の制御部15によってローカル記憶部18のファイル・ホルダにバックアップされている文書データのレビジョンが読み出され、これが最新レビジョン文書へのバックアップ変更依頼された文書データに対するレビジョン要求とともに、データ送信部16、通信回線4を介してサーバー装置3の受信部10に送信され、文書管理部11に取り込まれる（ステップST32）。

【0037】そして、この文書管理部11によって文書管理データ保存部8に登録されている前記レビジョン要求で指定された文書の管理情報が読み出されるとともに、この管理情報で示される前記最新レビジョン文書のレビジョンの値と、前記ユーザー端末装置5から送信された前記レビジョンの値とが比較され、これらレビジョンの値が異なっていれば（ステップST33）、文書データ保存部7に登録されている最新レビジョン文書のデータが読み出され、これが文書データ送信部13、通信回線4を介して前記ユーザー端末装置5のデータ受信部17に送信され、このユーザー端末装置5のローカル記憶部18内にある前記ファイル・ホルダにバックアップされている前記文書が最新レビジョン文書に変更される（ステップST34）。

【0038】このようにこの実施例においては、サーバ

(8)

13

一装置3によって文書作成者や文書登録者が入力した文書を取り込んで、これら各文書の保存期限を管理し、保存期限が切れる日の数日前に、前記文書の作成者、文書登録者および前記文書の利用者など、特定のユーザーに対し、前記文書の保存期限が切れることを知らせ、保存期限の延長などの要求を受け、要求受付期限が切れるとき前記文書の保存期限を延長するかどうかを決定し、この決定結果に基づきこの文書の保存期限の延長、削除などを行ない、この処理結果を前記特定のユーザーに知らせるようにしたので、文書データの保管期限切れを特定のユーザーにだけに通知して、該当する文書データの利用ユーザー側での「文書データ保存期限情報」の誤認、氾濫を防ぐことができるとともに、管理工数を大幅に低減させることができる。

【0039】また、この実施例では、保存期限切れとなった文書を削除する際、削除された文書（旧文書）に対応する新たな文書（新文書）が登録されているときサーバー装置3によって旧文書を記憶しているユーザー端末装置5に対して最新レビジョン文書へ変更するかどうかを通知し、変更要求があれば、前記ユーザー端末装置5に対し、サーバー装置3から最新レビジョンの文書を転送して、このユーザー端末装置5に記録されている文書を更新させるようにしたので、ユーザー側で、サーバー装置3に登録されている文書を読み出して、自ユーザー端末装置5にバックアップする件数を減らして、記憶部の有効活用を促進することができるとともに、情報の一元化によるデータの氾濫を防止することができる。

【0040】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、請求項1、2では、文書データの保管期限切れを特定のユーザーにだけに通知して、該当する文書データの利用ユーザー側での「文書データ保存期限情報」の誤認、氾濫を防ぐことができるとともに、管理工数を大幅に低減させることができる。また、請求項3では、利用ユーザー側で、中央記憶部に登録されている文書を読み出して、自ユーザー端末装置にバックアップする件数を減らして、記憶部の有効活用を促進することができるとともに、情報の一元化によるデータの氾濫を防止することができる。また、請求項4、5では、請求項1、3と同様に、文書データの保管期限切れを特定のユーザーにだけに通知して、該当する文書データの利用ユーザー側での

14

「文書データ保存期限情報」の誤認、氾濫を防ぐことができるのと同時に、管理工数を大幅に低減させることができ、さらに利用ユーザー側で、中央記憶部に登録されている文書を読み出して、自ユーザー端末装置にバックアップする件数を減らして、記憶部の有効活用を促進するとともに、情報の一元化によるデータの氾濫を防止することができる。また、請求項6では、各利用ユーザー側で文書がバックアップされている状態で、中央記憶部側の文書を更新する場合でも、システム内に新文書と、旧文書が混在するのを防止して、データの氾濫を防止することができる。また、請求項7では、請求項3と同様に、利用ユーザー側で、中央記憶部に登録されている文書を読み出して、自ユーザー端末装置にバックアップする件数を減らして、記憶部の有効活用を促進することができるとともに、情報の一元化によるデータの氾濫を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による文書管理システムの一実施例を示すシステム構成図である。

【図2】図1に示す文書管理システムにおける各文書の保存期限切れ前の動作例を示すフローチャートである。

【図3】図1に示す文書管理システムにおける各文書の保存期限切れ時の動作例の一例を示すフローチャートである。

【図4】図1に示す文書管理システムにおける各文書のレビジョン更新動作例を示すフローチャートである。

【図5】図1に示す文書管理システムのユーザー端末装置上に表示される保存期限間近通知アイコン例を示す模式図である。

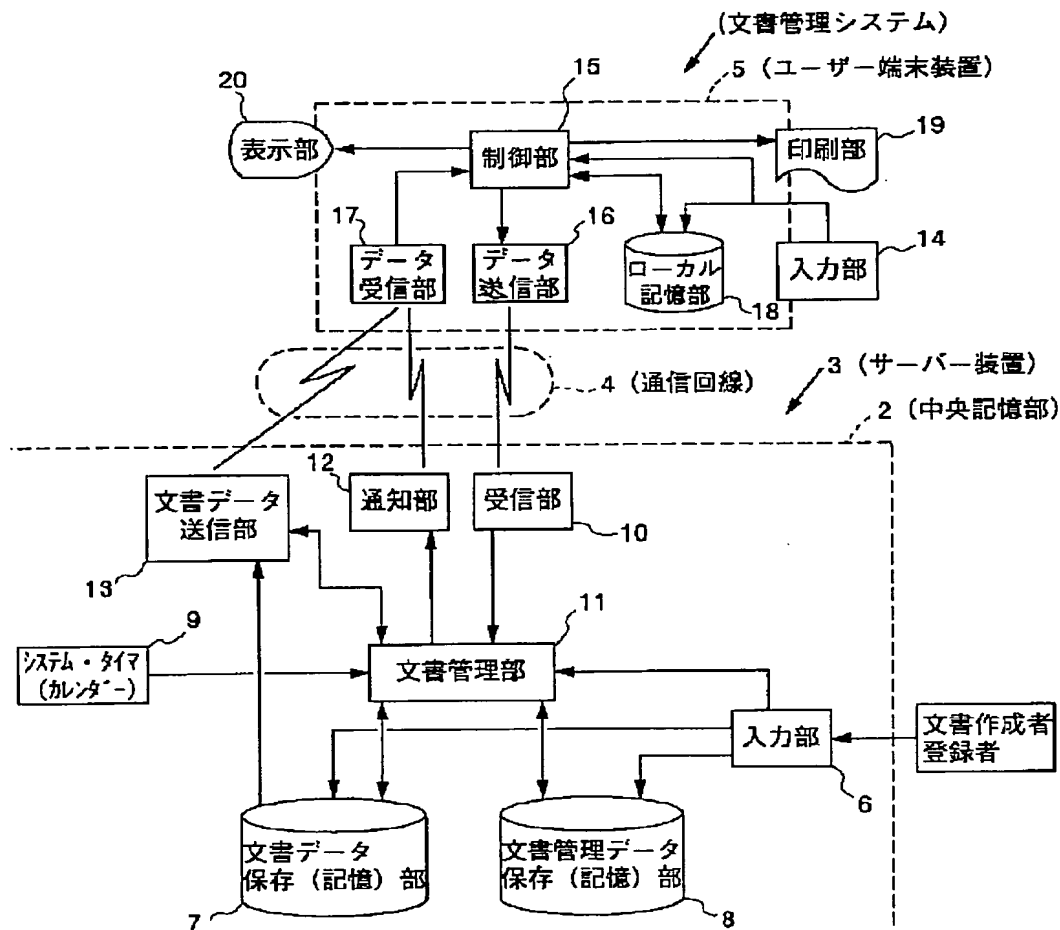
【図6】図1に示す文書管理システムのユーザー端末装置上に表示される回答画面例を示す模式図である。

【符号の説明】

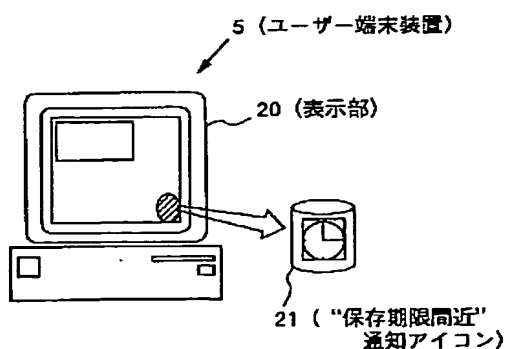
2 中央記憶部、 3 サーバー装置、 4 通信回線、 5 ユーザー端末装置、 6 入力部、 7 文書データ保存部、 8 文書管理データ保存部、 9 システム・タイマ、 10 受信部、 11 文書管理部、 12 通知部、 13 文書データ送信部、 14 入力部、 15 制御部、 16 データ送信部、 17 データ受信部、 18 ローカル記憶部、 19 印刷部、 20 表示部、 21 保存期限間近通知アイコン、 22 回答画面。

(9)

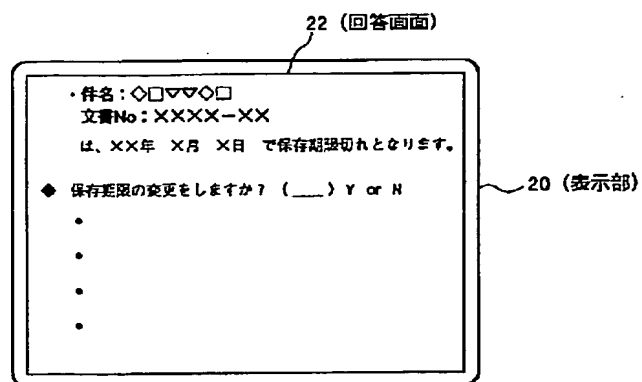
【図1】



【図5】

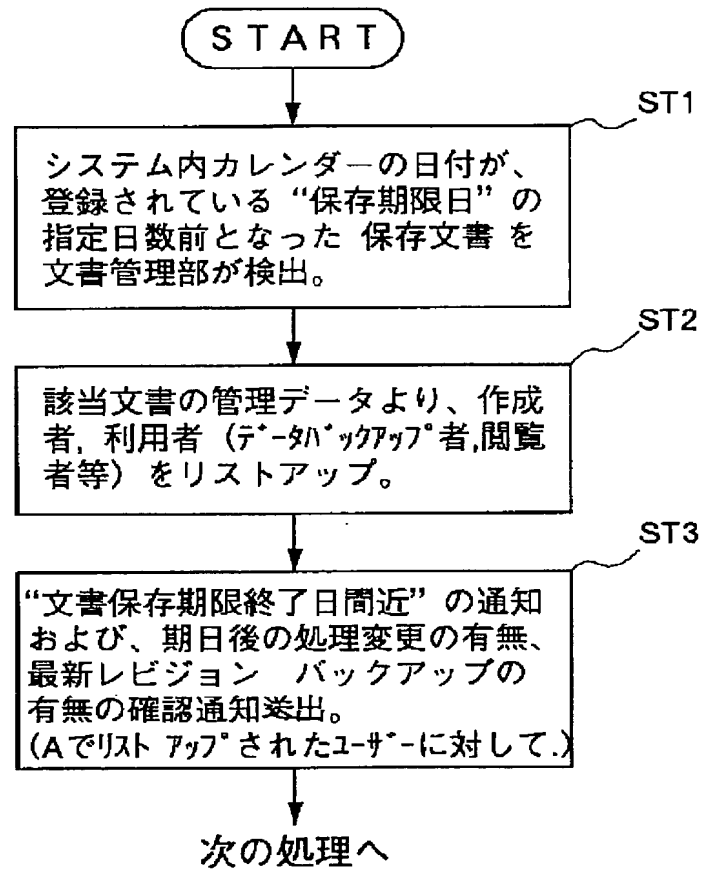


【図6】



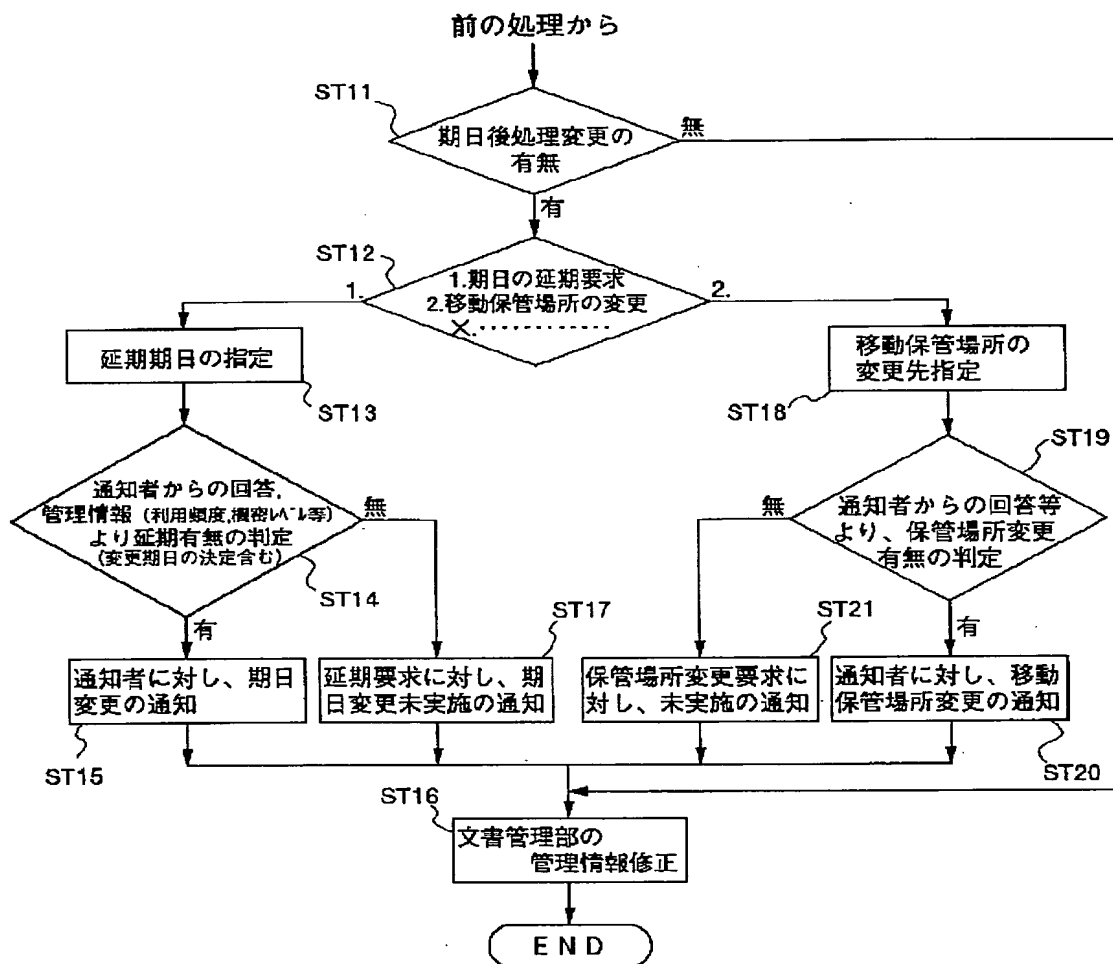
(10)

【図2】



(11)

【図3】



(12)

【図4】

